

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば菰野		
○保護者評価実施期間	7年 1月 4日		7年2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	7年 1月 4日		7年2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	7年2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの多様性	季節感を大切に活動設定を行っており、基本的には活動を固定化しない方針を取っています。また年間4回の他事業所合同イベントの実施により、年間行事の充実や他事業所の利用者様との交流の機会になっており、兄弟、保護者様にもご参加いただいています。	子ども達の成長、興味にあわせた活動設定を行っていくとともに、事業所のイベント、合同イベントも合わせてもっと楽しんでいただける内容を計画いたします。
2	個々の発達に合わせた支援	アセスメントツールを使用し、日々モニタリングアセスメントをとっています。保護者様、利用者様のニーズをもとに、子どもたちの発達に合わせて個別に課題、支援方法を考えており、将来を見据えた継続的な支援を目指しています。	他の福祉サービスや学校とより連携を深め、子ども達がどのサービスを利用していても統一した支援を受け、安心できる環境で過ごせるよう努めます。
3	環境の構造化	子ども達が過ごしやすいよう事業所内の環境を整える事を意識しています。誰がみても分かりやすいように、一日のスケジュールや物の配置様々な情報を視覚化しています。活動スペースも、子ども達の遊びや活動に合わせて棲み分けをしており、安心して過ごせるよう配慮しています。	一部バリアフリー化できていない部分がありますので、その点を今後改善していきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の交流会	コロナ前は座談会を実施していましたが、コロナを機に中止してから再開出来ていません。開催中の利用者様の預かりなど様々な点の課題もあり現状様子を見ています。	アンケートの結果、コロナ以降5年は開催しておらずそもそも座談会があったことを知らない保護者さんも増えてきました。ニーズがあるのかアンケートをとり、ニーズがあれば再開していこうと考えています。
2	災害時の対策、訓練について	利用開始時に説明はしているものの、それ以降の周知徹底が出来ていませんでした。アンケート結果をみると大半の方が知っていると回答されていますが、一部わからないと回答された保護者様もいらっしゃいました。	年間通して防犯訓練、避難訓練を実施し、内容の見直しも行っていきます。今後は保護者様全員に周知できる方法でお知らせいたします。
3	ペアレントトレーニング、勉強会の実施	大きな勉強会は一度しか開催しておらずご存じない方が多いかと存じます。ペアレントトレーニングに関しても、今までニーズがなかったことで現状維持で様子を見ていました。	保護者座談会の件も含めてアンケートをとり、ニーズに合わせて今後の対応を検討していきます。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば菟野		
○保護者評価実施期間	7年 1月 4日		7年2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	7年 1月 4日		7年2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	7年2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの多様性	季節感を大切に活動設定を行っており、基本的には活動を固定化しない方針を取っています。また年間4回の他事業所合同イベントの実施により、年間行事の充実や他事業所の利用者様との交流の機会になっており、兄弟、保護者様にもご参加いただいています。	子ども達の成長、興味にあわせて活動設定を行っていくとともに、事業所のイベント、合同イベントも合わせてもっと楽しんでいただける内容を計画いたします。
2	個々の発達に合わせた支援	アセスメントツールを使用し、日々モニタリングアセスメントをとっています。保護者様、利用者様のニーズをもとに、子ども達の発達に合わせて個別に課題、支援方法を考えており、将来を見据えた継続的な支援を目指しています。	他の福祉サービスや学校とより連携を深め、子ども達がどのサービスを利用していても統一した支援を受け、安心できる環境で過ごせるよう努めます。
3	環境の構造化	子ども達が過ごしやすいよう事業所内の環境を整える事を意識しています。誰がみても分かりやすいように、一日のスケジュールや物の配置様々な情報を視覚化しています。活動スペースも、子ども達の遊びや活動に合わせて棲み分けをしており、安心して過ごせるよう配慮しています。	一部バリアフリー化できていない部分がありますので、その点を今後改善していきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の交流会	コロナ前は座談会を実施していましたが、コロナを機に中止してから再開出来ていません。開催中の利用者様の預かりなど様々な点の課題もあり現状様子を見ています。	アンケートの結果、コロナ以降5年は開催しておらずそもそも座談会があったことを知らない保護者さんも増えてきました。ニーズがあるのかアンケートをとり、ニーズがあれば再開していこうと考えています。
2	災害時の対策、訓練について	利用開始時に説明はしているものの、それ以降の周知徹底が出来ていませんでした。アンケート結果をみると大半の方が知っていると回答されていますが、一部わからないと回答された保護者様もいらっしゃいました。	年間通して防犯訓練、避難訓練を実施し、内容の見直しも行っていきます。今後は保護者様全員に周知できる方法でお知らせいたします。
3	ペアレントトレーニング、勉強会の実施	大きな勉強会は一度しか開催しておらずご存じない方が多いかと存じます。ペアレントトレーニングに関しても、今までニーズがなかったことで現状維持で様子を見ていました。	保護者座談会の件も含めてアンケートをとり、ニーズに合わせて今後の対応を検討していきます。